

第7回 勉強会 課題

鈴木颯斗

デフォルト状態で実行

認識率

```
test accuracy: 0.6806
```

問1. ネットワークの構造を変更し, 認識精度の変化を確認する

・中間層のユニット数

変更内容 : 1024 → 2048

認識率

```
test accuracy: 0.6890
```

・層数

変更内容 : 3層 → 4層

認識率

```
test accuracy: 0.6896
```

・活性化関数

変更内容 : ReLU → LeakyReLU

認識率

```
test accuracy: 0.6949
```

問2. 学習の設定を変更し, 認識精度の変化を確認

・バッチサイズ

変更内容 : 64 → 256

認識率

```
test accuracy: 0.6386
```

・学習回数

変更内容 : 10 → 20

認識率

```
test accuracy: 0.6918
```

・学習率

変更内容 : 0.01 → 0.02

認識率

```
test accuracy: 0.6887
```

・最適化手法

変更内容 : SGD → Adam

認識率

```
test accuracy: 0.411
```

問3. 認識精度が向上するように1,2を変更

変更内容 :

- ・中間層のユニット数 : 1024 → 2048
- ・層数 : 3層 → 4層
- ・活性化関数 : ReLU → LeakyReLU
- ・バッチサイズ : 64 → 128
- ・学習回数 : 10 → 30

認識率

```
test accuracy: 0.7128
```